



一年間の成長

園長 立石 晃子

花壇の菜の花が咲き、春の訪れが感じられるようになりました。先日は園門で朝の迎え入れをしていると、メジロが柿の木に止まり、保護者の方と眺める時間がありました。

残すところあと1カ月で年長組は修了、年中・年少組は進級を迎える時期となりました。一年前の子供たちの様子を思い出し、この一年で心も体もぐんと成長したなあと感慨深くなります。入園当初は砂場遊びに若葉マークが付いていた年少組の子供たちは、今では一日中外で過ごせるほど遊び上手になり、友達に声を掛け遊ぶことが大好きになりました。年長組から係りの仕事を引き継いだ年中組の子供たちは、年長組の行っていたことを必要感や意味とともに継承し、自分でできることの嬉しさや役に立つ喜びを感じながら取り組んでいます。

そして年長組は、2月17日（火）に保育参観を行いました。運動会でのリズムからなぞらえた「かんぜんうちゅうもーど」では、幼稚園生活3年間の中で身に付けた力を見せてくれました。PTA主催の夕涼み会は子供たちの遊び場の共通イメージとなり、ボウリングやもぐらたたき、輪投げ、ポーズコーナーへと繋がりました。歌舞伎の小道具体験は「何の音？」のクイズにつながりました。



日頃から子供たちが経験したことをもとに考えたり思いついたりしたアイデアを出し合い、他者と協力して自分たちの手で実現していくという経験の積み重ねがあつてのコーナーづくりでした。当日はたくさんの保護者の方が参加してくださり、子供たちも達成感で溢れていました。

文部科学省教育課程部会幼児教育ワーキンググループでは令和10年に施行する幼稚園教育要領の改訂に向けての議論・検討が行われています。子供を取り巻く現代社会の課題の一つに、

（2）他者との関わりに関する課題「幼児教育施設に入園するまで、家族以外の人と関わる経験が少ない場合が多いとの指摘。」「SNSや生成AIの負の側面の影響もあり社会分断の可能性等も指摘される中で、自分とは行動・態度、考え方、生育環境などが異なる者とは関わろうとせず、他者との交流が同質な集団内に偏る傾向への懸念。」が挙げられています。幼稚園がいろいろな他者と交わり、発達に即して他者の思いや考えに気づき、折り合いをつけながら、共に生活する場となるよう、今後も教育活動続ける責務を感じています。

令和7年度も皆様のご理解とご協力を得て幼児教育を運営することができました。感謝申し上げますとともに、4月からの新たな生活の中でのご活躍を祈念いたします。

楽しいこといっぱい！子どもたちの園生活

<3 歳もも組>

「いれて！」「いいよ！」「一緒にやろうよ！」って、お友達と遊ぶって、楽しいね！

劇遊びの会が終わり、まだまだ遊びの中で劇のお話や、言葉のやり取りが続いているもも組の子供たちです。オオカミ役の先生がいなくても、自分たちでオオカミのような役割をつくったりしながら、アレンジして遊んでいます。今まで特定の友達との関わりが多かったもも組の子供たちですが、2月には他のお友達とも誘い合って遊んだり、時には5人くらいで集まって自分たちで鬼を決めてかくれんぼを始めたり、そしてそれがみんなに広がってもも組全員のかくれんぼになったりと、友達と遊ぶ楽しさを存分に味わっています。

いよいよもも組もあと数日で終わり…友達との遊び方も、お話の聞き方も、いろいろなことに目を向けて挑戦していく姿も、この一年間で大きな変化が見られています。子供たちも、「お支度早いでしょ！」「野菜も食べられたよ！」と自分でも成長を実感しているようです。この気持ちを大事に、さらに一人一人の成長をたくさん認めながら、自信をもって進級に向かっていきます。

<4 歳たんぼ組>

もうすぐ自分たちが年長組！今の年長組みたいになかったいい年長組になりたいな☆

劇遊びの会が終わり、友達とのつながりを感じながらひとつの活動を進めることに喜びや満足感を味わった子供たち。その気持ちを胸に、2月には年長組から係の仕事を引き継ぎました。年長組から教えてもらったことを思い出しながら意欲的に仕事を進めようとする中、友達と声を掛け合って気持ちを合わせたりやることを確認したりする様子はたくましさすら感じます。毎日の終わりには、明日の係の分担をします。それぞれが取り組みたい係を出し合った後、「一人だと大変だよ」「こっちの係はこの人数でもできる」「今日こんなことに気付いたから明日からはこうしてみて？」と思いや考えを伝え合いながら分担を決め、明日の期待や見通しをもって降園しています。

来月はお別れ会や修了式など年長組がいなくなることを実感する活動が増えます。「いよいよ自分たちが年長組」という意識も高まってくることでしょう。進級が楽しみになるよう、これまでに築いてきた友達とのつながりを土台に、一人ひとりの気持ちを受け止め、良さや頑張りを認め、支えていきます。

<5 歳ばら組>

かんぜんうちゅうもーど大成功！！わくわくの一年生に向けて頑張ろう

ばら組の幼稚園生活最後に、保護者の方をお招きして保育参観をしようと、『ばらぐみかいぎ』をたくさん開いてみんなで相談しました。「これは、もも組さんには難しくないかな？」「じゃあ、大人用、子供用って分けて難しさを変えればいいんじゃない！」などとじっくりと時間を掛けてイメージを共有していききました。自分だけが楽しむのではなく相手のことを思っ考えるととても良い経験ができました。ばら組の子供たちも徐々に一年生になる実感をし始めたようです。わくわくの期待の気持ちはたくさん見られています、ドキドキや寂しい気持ちも見られています。たんぼ組に係りの仕事のバトンタッチをしたり、誕生会の司会を教えたりしました。その子なりに頑張って引継ぎをしようと意欲的に参加していました。いよいよ、園生活も残りわずかとなってきました。「幼稚園楽しかった！」という思いや「こんなに頑張った！」という自信をもって修了式を迎えられるよう、友達とたくさん遊び、思い出をつくっていきます。子供たちは「3月は全部全員集合で、カレンダーに花丸を付けようね！」と意気込んでいます。保護者の皆様も一緒に、充実した日々を送りましょう！！